

『青少年安心・安全ネットづくりセミナーin金沢』を開催 ～青少年のスマートフォンの安心・安全な利用環境整備に向けて～



セミナーで挨拶する伊丹局長

北陸情報通信協議会では、平成26年5月24日（土）、石川県女性センターにおいて、情報通信月間行事の一環として、北陸総合通信局、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会、いしかわ青少年安心ネットづくり実行委員会及び安心ネットづくり促進協議会との共催により「青少年安心・安全ネットづくりセミナーin金沢」を開催し、教育関係者、PTA、行政機関等から約140名の参加がありました。

冒頭、北陸総合通信局の伊丹局長が「スマートフォンの利用が急速に増えている中、総務省では、今年度から多くの青少年が初めてスマートフォン等を手にする、春の卒業・進学・新入学の時期に合わせ、関係府省庁・関係事業者等と協力して、「春のあんしんネット・新学期一斉行動」として集中的な取組を展開している。本日のセミナーが、インターネット利用の実態やフィルタリングの有効性、ケータイ依存に陥らないための家庭内のルールづくりなど、具体的な対策を検討する上でヒントにしていきたい。」と挨拶しました。

セミナーでは、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会の座長である村井教授が「インターネットの安心・安全な利用環境整備に向けた取組」と題して、また、花木 陸朗 氏（金沢市立千坂小学校教諭）が「情報モラル教育についての現状把握と今後のあり方について」と題して、これまでの取組を紹介しながら講演され、青少年の安心で安全なインターネット利用環境の整備に向けて、新たな課題や方策などについて理解を深めました。

続いて、曾我 邦彦 氏（安心ネットづくり促進協議会副会長）がコーディネーターを務め、村井教授、花木教諭、田中 敬人 氏（石川県PTA連合会副会長）及び朝倉 孝之 氏（株）ディー・エヌ・エー）がパネラーとなり、「青少年のネット利用を巡る課題に大人がやるべきこと」をテーマにパネルディスカッションが行われ、会場の参加者は「子どもを持つ親、大人は、ネットの取扱いや危険について関心を持ち、子どもに対する責任を持って勉強していかなければならない。」という認識を深めました。



講演する村井教授



講演する花木教諭



コーディネーターの曾我副会長



パネルディスカッションの様子